



## CHAPTER 2

# CDR の処理方法

この章では、CDR の処理方法について説明します。この章は次のトピックで構成されています。

- 「レコード処理」 (P.2-1)
- 「関連項目」 (P.2-2)
- 「関連資料」 (P.2-2)

## レコード処理

Cisco Unified Communications Manager では、CDR および CMR という 2 種類の呼情報レコードが生成されます。CDR レコードには、コールに関する情報が格納されます。CMR レコードには、コールの音声ストリームの品質に関する情報が格納されます。CDR レコードは、[Global CallID callManagerId] および [Global CallID Called] という 2 つの Global CallID カラムによって CMR レコードに関連付けられます。コールシナリオに応じて、CDR ごとに複数の CMR が存在する場合があります。

Cisco Unified Communications Manager がコールを発信または受信すると、そのコールの終了時に CDR レコードが生成されます。CDR はフラットファイル（テキストファイル）に書き込まれます。Cisco Unified Communications Manager 内部で、コール制御処理により CDR レコードが生成されます。あるコールに重大な変化（コールの終了、転送、リダイレクト、分割、結合など）が発生すると、レコードが書き込まれます。

CDR レコードが有効になっている場合、コール制御によりコールごとに 1 つまたは複数の CDR レコードが生成されます。これらのレコードは EnvProcessCdr に送信され、フラットファイルに書き込まれます。書き込まれるレコードの数は、コールのタイプやコールシナリオによって異なります。診断が有効になっている場合、デバイスによりコールごとに CMR レコードが生成されます。コールに関与する IP Phone ごとに、またはメディアゲートウェイコントロールプロトコル (MGCP) ゲートウェイごとに、1 つの CMR レコードが書き込まれます。これらのレコードは EnvProcessCdr にも送信され、フラットファイルに書き込まれます。

Cisco Unified Communications Manager は CDR および CMR レコードを生成しますが、レコードに対する後処理は実行しません。これらのレコードはカンマ区切り形式のフラットファイルに書き込まれ、定期的に CDR リポジトリに渡されます。CDR および CMR ファイルは、フラットファイル内で特定のファイル名の形式で表されます。

### ファイル名の形式

次に、ファイル名の完全な形式の例を示します。tag\_clusterId\_nodeId\_datetime\_seqNumber

- tag : ファイルのタイプ (CDR または CMR) を識別します。

- `clusterId` : Cisco Unified Communications Manager データベースが存在するクラスタまたはサーバを識別します。
- `nodeId` : ノードを識別します。
- `datetime` : UTC 時刻 (yyyymmddhhmm 形式)
- `seqnumber` : シーケンス番号

次に、ファイル名の例を 2 つ示します。

```
cdr_Cluster1_01_200404021658_1
cmr_Cluster1_02_200404061011_6125
```



(注) Cisco Unified Communications Manager Business Edition 5000 インストールの場合、`clusterId` に割り当てられる値は 01 になります。

### フラット ファイルの形式

CDR および CMR フラット ファイルの形式は次のとおりです。

- 1 行目 : フィールド名のリスト (カンマ区切り)
- 2 行目 : フィールドタイプのリスト (カンマ区切り)
- 3 行目 : データ (カンマ区切り)
- 4 行目 : データ (カンマ区切り)

次に、フラット ファイルの例を示します。

```
Line1="cdrRecordType","globalCallID_callManagerId","globalCallID_callId","origLegCallIdentifier",...
Line2-INTEGER,INTEGER,INTEGER,INTEGER,...
Line3-1,1,388289,17586046,...
Line4-1,1,388293,17586054,...
```



(注) [CDR Log Calls With Zero Duration Flag] パラメータの値が True の場合、すべてのコールがフラット ファイルに書き込まれます。このパラメータの詳細については、『*CDR Analysis and Reporting Administration Guide*』の「Configuring CDR Service Parameters」の項を参照してください。

## 関連項目

- [第 1 章「Cisco 呼詳細レコードについて」](#)
- [第 3 章「呼情報レコードのタイプ」](#)
- [第 8 章「Cisco 呼管理レコード フィールドの説明」](#)

## 関連資料

次のマニュアルには、CDR に関する詳細情報が記載されています。

- 『*CDR Analysis and Reporting Administration Guide*』
- 『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』